

群馬大学女性研究者研究活動支援事業（まゆだまプラン） 国際セミナー



「シンガポールにおけるダイバーシティ・

男女共同参画とインターカルチュラル演劇」

‘Diversity, Gender Equality, and Intercultural Theatre in Singapore’

平成 27 年 5 月 7 日（木）、女性研究者研究活動支援事業（まゆだまプラン）国際セミナーを、荒牧キャンパス社会情報学部棟 3 階会議室にて開催しました。



歓迎挨拶をされる和泉研究担当理事

最終事業年度のスタートを切る全学イベントであり、さらに外国から講師を迎えての初の英語講演となった本セミナーには、教職員など 24 名が参加しました（うち大学上位職[理事・副学長]）の参加者 4 名）。国際的なダイバーシティへの取り組みに照らして本学の取り組みについて再認識する良い機会となりました。研究担当理事・男女共同参画推進委員長の和泉孝志教授による冒頭の挨拶では、具体的な数を挙げて女性研究者の割合が少ない日本の状況が述べられました。

講 演「シンガポールにおけるダイバーシティ・男女共同参画とインターカルチュラル演劇」
‘Diversity, Gender Equality, and Intercultural Theatre in Singapore’

シンガポール国立大学文学部英語英文学科 ヨン・リーラン准教授

—多文化主義が進んだ社会の現状とアジア発信の国際的研究—

女性研究者の国際的な視野を広げる啓発活動としての本セミナーでは、ダイバーシティ先進国であるシンガポールより、シンガポール国立大学准教授のヨン・リーラン先生を講師にお招きして、「シンガポールにおけるダイバーシティ・男女共同参画とインターカルチュラル演劇」（‘Diversity, Gender Equality, and Intercultural Theatre in Singapore’）と題してご講演頂きました。

多文化を反映した先生ご自身の出自にまつわるお話しや大きく分けて 4 つの民族からなる多文化主義先進国シンガポールの社会状況、その社会が抱える様々な問題と対応策などの説明に、聴衆は興味深く耳を傾け、新たな見地を見出したことがアンケートからも伺えます。留学などの海外経験は、研究職を目指す女子学生にとって、言語や知識の習得だけではなく他民族や文化を寛容する姿勢が身につく貴重な機会となることも示唆されました。



多文化主義が進んだ社会の現状を熱心に語るヨン先生

また、先生ご自身の国際的な演劇研究についても紹介されました。代表を務める A|S|I|A (Asian

Shakespeare Intercultural Archive)は、アジアのシェイクスピア上演を4ヶ国語の字幕で観ることができるウェブ・アーカイブで、現在世界の大学等において研究・教育分野での利用が広がっているとのことでした。

講演終了後にはフロアからの質疑応答に続いて、工藤男女共同参画推進室長からさらなる質問とまとめの挨拶がありました。「学内でも様々な考えがあるが、他者への寛容な気持ちを持ちつつ男女共同参画の活動を推進していけば良い、と背中を押してもらったようだ」という室長のコメントが印象的でした。

参加者からのアンケートでは、「多文化主義が進んでいくとどのような変化が起きてくるかという話が興味深かった」、「大学での男女共同参画を推進するためのヒントがたくさんつまっていた」、「シンガポールがそのように多民族から成っているとは知らなかった」、「シェイクスピア上演を4言語で観ることのできるウェブ・アーカイブについて知らなかったので有益であった」などの感想を沢山いただきました。

今回は大学上位職である教員や関連分野の仕事に携わる職員の参加率が高く、群馬大学教職員を広く啓発する良い機会となりました。これを機に、世界を視野に入れた女性研究者の一層の増加につながることを期待されます。



挨拶する工藤男女共同参画推進室長



末松室員による日本語での解説も行われた



司会進行役の村岡室員



質疑応答もほぼ英語で行われた